

JCF J2 きじま平 STAGE レースレポート

MIYATA-MERIDA BIKIG TEAM 齊藤 亮

大会名：JCF J2 きじま平 STAGE

期日：2013年6月16日（日）

会場：木島平クロスカントリー競技場（やまびこの丘公園）

天気：曇/晴

気温：29℃

競技種目：男子エリート 4.3km×7周回

出場者数：46名

結果：優勝

.....

第5回大会を迎える J2 きじま平。自宅のある飯山市の隣村にあたる木島平村はレース会場までは20分程と近く、自宅から通える距離にある。XC スキー選手時代は毎日のように訪れてはトレーニングに明け暮れた思い出のトレーニング場。地元でのレース開催となれば身内や友人知人が観戦に駆けつけてくれた。地元選手ということもあり多少のプレッシャーも掛かるが、良い緊張感の中でレースを思う存分楽しもうと思えた。

J2 レースとは言え、Jシリーズ（J1）を転戦するほぼフルメンバーが顔を揃える。今レースは全日本選手権前の最後のレースということもあり、しっかり結果を残すというよりは、色々なことを積極的に“試す”ことをテーマにしてレースに挑んだ。J2 レースだからこそ出来る様々なテスト。色々と“試す”という意味で今までと違うことに積極的にトライしてみた。まずバイクのフレームを1サイズ小さいのに変更、ステムの長さを変更、サドルの前後位置を変更、ウォーミングアップ方法の改善、レースの組み立て方・・・今までの固定観念をガラッと変える勇気を持ってレースに挑んでみた。トレーニング段階でのテストはもちろん大切だが、実戦（レース）でしか試せないテストがやはりある。そういう意味ではレースを走ることではしか得ることの出来ない感覚を求めた。

タイヤは絶対的に信頼がある IRC MYTHOS XC（29×2.1）をチョイス。ケミカルはもちろんホルメンコール。いつものルーティンで全ての機材が仕上げられていく。エリート男子のスタートは定刻通りの13時40分。号砲と共に良い反応でスタートを切れた。アップダウンを繰り返す木島平のコースはバランスの取れたハイスピードコース。前日の雨の影響で林の中が若干滑りやすいが、全体的にほぼドライコンディションで問題はない。前半からハイペースでレースは進み、集団は徐々に絞られていく。気温の上昇と共にレースは過酷さを増す・・・。1周目中盤までは2番手でレースを展開していき、終盤で自分から積極的に仕掛けた。中途半端なペースアップではなく、アタック気味にペースを上げて先頭を突っ走る。1周目を通過し、後続と30秒程差が着いた。しかし3周目には暑さと乳酸の処理がうまく出来ず苦しい場面もあったが、水分補給をしっかり摂取し、走りに緩急をつけて追い付かせない走りを心掛けた。4周目、2位との差1分17秒。5周目は1分38秒差。逃げ切るという考えよりも、苦しい場面でどれだけ粘れるかを自分に言い聞かせた。6周目以降は後ろとの差を気にせずに集中して追い込みを掛ける。自分がされて嫌なレースを自分がしようと思っし続

ける。水分補給に失敗すれば間違いなく脱水症状でレースが終わってしまう。しっかりと意識して水分補給し、ショッツのジェルを一気に流し込む。いよいよファイナルラップ、前だけを見てひたすら追い込む。弱い自分が出ないように、そして集中力を切らさないように、納得のいく走りが出るように……。会場へと続く最後の下りを終えてやっと安堵のゴール。暑さに耐えた今レースは全日本選手権に向けた良いリハーサルになった。

今回、色々なことを試せたところで大きな手応えを感じている。次戦はいよいよ全日本選手権大会。1カ月の期間が開くが、しっかりと調整し、万全の体制でレースに挑みたいと思います。たくさんの方の応援、サポート、本当にありがとうございました。

【レース結果】

1. 齊藤 亮 長野県/MIYATA-MERIDA BIKIG TEAM
2. 小野寺健 京都府/SPECIALIZED RACING TEAM
3. 中原義貴 大阪府/CANNONDALE
4. 池田祐樹 東京都/TOPEAK/ERGON
5. 松本 駿 長野県/TEAM SCOTT
6. 合田正之 東京都/Cycle Club 3UP

【使用機材】

バイク：MERIDA / BIG.NINE CARBON TEAM-D

フロントフォーク：DT-SWISS / XMM100-29 TS REMOTE TAPER

クランクセット：SRAM / XX1

サドル：SELLE ITALIA SLR XC

ホイール：DT-SWISS

タイヤ：IRC / MYTHOS XC TUBELESS READY (29×2.1)

シューズ：NORTHWAVE / エクストリームテック MTB S.B.S

ヘルメット：KOOFU/WG-1

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro /LST アクティブ S ライト

ケミカル：HOLMENKOL

チェーン：ルーベエクストリーム、ダートプロテクター、ライニガー

スプロケット、ホイール：ダートプロテクター、ライニガー

フレーム：スポーツポリッシュ、アクアスピード、ダートプロテクター

ウェア、シューズ：ハイテクプルーフ、テキスタイルウォッシュ

サングラス：ノーフォグ

斉藤選手のケミカルレポート

チェーンはライニガーで綺麗にクリーニングし、ルーベエクストリームを保存瓶に満した物にドブ漬けしました。しっかり馴染ませてセットしてからいったんケアフリースで拭き、少量のルーベエクストリームで仕上げました。今回ルーベンスピードは使用していません。ウェア・シューズはハイテクプルーフで、サングラスはノーフォグでナノコーティング。フレームはスポーツポリッシュからのアクアスピード。スプロケとフレーム下部はダートプロテクター。

これからの梅雨時期は安定しない天候が続くので、機材や衣類などには常にナノコーティングをしておく必要があります。そうすることで結果、後片付けや後始末が簡単に済ませることになります。これだけのラインナップが揃えられ、バリエーション豊かなアイテムが揃っているのもホルメンコールの魅力の1つですね。

小さな積み重ねと拘り。これこそが勝利を引き寄せるアドバンテージとなる訳です。

メーター：POLAR / RS800CX BIKE

エネルギージェル：shotz ENERGY GEL

ドリンク：Electrolyte shotz

レースウェア：WAVE ONE

レースソックス：NORTHWAVE / Black-White

レースグローブ：KABUTO / PRG-3

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

アパレルウェア：Columbia

テーピング：New-HALE

